

短歌 (投稿順)

面会の出来る日待つ施設人感染者数見て一喜一憂
下日野沢 太幡 喜一
すいすいとバイク走らす夢をまた免許返納して八か月
三沢 眞下 杏子
困に土手吹き上る落葉群真青な先で最後の舞を
皆野 戸塚喜久雄
気ぜわしい時節に向う小春日の庭にこぼれるさざんかの花
皆野 萩原 初恵
しじまなる柚子の畑は陽に満ちて背負ふ籠には彩香膨るる
三沢 新井 民子
早や師走楽しきことは無に等しコロナ防御に尽きる一年
三沢 新井 叶子
遠く住む会えぬ孫達成長を思いめぐらし会える日待つ
皆野 村田ハツ代
明け方に登る美の山霧の中頂上は晴天雲海明媚
皆野 大澤 貴夫
「おめでとー」手紙添えられ宅配便吾が誕生日開戦日なり
皆野 藤原マキ子
コロナ禍に続く災難大八洲今後の課題余りに多し
皆野 根岸 詩子
絵のなかに「ちひろ」の名ある文届くかける楽しさ知るらし四歳
皆野 引間 万亀
眠れずに夜の静寂に耳立ててやがて聞こえる終電の軋み
下田野 新井 節子
変異して感染続くコロナ禍の世界のニュース見ている朝餉
上日野沢 四方田利男
曾孫等の喜ぶ顔を思ひつつお年玉など用意するなり
下日野沢 浅見 豊子
深谷にもからっ風吹き栄一のいた頃は藍今葱揺らす
皆野 打木 昭廣
先生も「瘦せた？」とガチで心配す病み上がりテスト背水の陣
皆野中 石原 達也
自暴自棄そんな私に文をくれ「元気をだせ」と変わらぬ齊藤大仙先生
皆野 櫻井 早苗
夕暮れの街に枯葉の舞い散りてユトリ口描きしバりに居るよう

俳句 根岸茉莉 選 投稿数 17句

ライトアップのジュラ紀岩盤冬の滝 下日野沢 小原 和夫
(評)ジュラ紀は地質時代の年代区分の一つで、隆起してできた岩山の岩盤はチャートと呼ばれていま
す。日野沢の滝の岩盤は水に濡れると赤色になります。枯山を流れ落ちる冬の滝は夏の力強さはな
いが荘厳な感じます。照らされて光の帯となって赤く輝く岩盤を滑り落ちる滝。幻想的な光景です。
ライトアップとジュラ紀。現代と太古の融合に着目した良句です。二句目、目の醒める様な黄葉を
楽しませてくれた銀杏がもう裸木に。散り敷いた黄色い絨毯の上にとっしり構え鋭い枝先を青空に
突き立てている大銀杏。「天を突く」が良いです。三句目、北海道釧路の港、赤潮の甚大な被害に
苦しむ人達に連日本枯が吹き荒れる。心が痛みます。早く赤潮が消えて欲しいですね。
散り急ぐ銀杏の上枝天を突く 皆野 引間 千鶴 静寂や結願の寺もみじ舞ふ 国神 藤原マキ子
凧や赤潮居座る昆布森港 皆野 戸塚喜久雄 刻々と欠ける月上げ冬紅葉 三沢 眞下 杏子
人日の白雲遊ぶ武甲の秀 皆野 根岸 詩子 巢に帰る鴉の羽音冬夕焼 下田野 新井 節子
味噌汁の湯気の向こうに霜の朝 皆野 村田ハツ代 猫二匹ゆつくりと行く枯野かな 皆野 櫻井 早苗
指先の感触鈍し寒の入り 三沢 新井 叶子 鳥どちはすでに時へ暮早し 三沢 新井 民子

今月の題字

皆野中1年

肥土日菜子さん



児童の見守り放送

三沢小6年

持田 康一さん



1歳のお誕生日おめでとう

縁くん

中大浜区

宇佐美涼平さん

玲奈さん



元気いっぱい! えにしくん☆
すくすく大きくなってね☆

汐里ちゃん

下田野区

石渡 健さん

裕子さん



にこにこ笑顔のしおりちゃん♡
元気に大きくなってね♪

Happy Birthday



※満1歳の赤ちゃんを募集します。2月号の締め切りは、1月11日(火)まで。ホームページからも応募できます。